



令和5年5月31日

6月号 No.446

発行責任者

校長 湊 仁

所在地 福生市熊川 623

地域協働の学び

校長 湊 仁

梅雨入りを間近に感じさせる天気が続きますが、子どもたちは元気に学校に通っています。早いもので1学期も折り返しとなる6月に入ります。皆様におかれましては、ますますご健勝のことと思います。

【5月の振り返り】

さて教育活動は、昨年度までの3年間は感染症対策の制約などがありましたが5月8日のコロナ5類移行を機に、どの活動も活発に取り組めるようになりました。

○5月13日には、学校公開があり、多くの保護者、地域の皆様に子どもたちの元気に学ぶ姿を参観していただきました。入場制限等もなくなり、公開日には多くの方が来校され、子どもたちにとっては大いに励みになりました。また、PTAの協力のもと、保護者証の取り扱いも今年度から変更しましたが、スムーズに活用していただいております。ご協力等、ありがとうございました。

○22日は、3年遠足「小峰公園」、25日は、1・2年合同遠足「昭和和記念公園」に行きました。どちらの遠足も天候にも恵まれ、楽しく協力して実施することができました。また、他の学校と重ならず、広々とした空間で思い切り体を動かしたり、おいしいお弁当を食べたりして友達と楽しい時間を過ごしました。また、ケガ、事故なく安全に過ごせたことも立派でした。

○4年総合的な学習「熊川分水探検隊」では、フィールドワークやゲストティーチャーによる授業がありました。「熊川分水に親しむ会」の皆様の協力による地域教材を生かした学びに、子どもたちは、自分たちの住む町に貴重な分水があることを理解しました。

【福生市CS総会から】

5月20日(土)には、市主催で、一小にてCS総会が行われました。総会には、市内全小中学校のCS委員の皆様、各学校の代表の先生方が集まりました。今回の総会では、二小のCSの活動実践事例の紹介がありました。森田CS会長をはじめ、地域支援コーディネーターの3名による発表がありました。CSのこれまでの運営や特色、活動や研修内容等を紹介しました。その発表で、教育長にCS委員会に参加していただいたことがきっかけとなって、市の予算で、学校トイレ清掃について専門業者が入ってくれるようになったことなど、これまでの充実した活動事例を紹介することができました。

以上のように、校外での活動や地域の方から学ぶ学習が増え、学びに活気や成果が生まれてきています。地域の方との協働の学びもより活性化してくると思います。

